

## 郵政民営化委員会（第101回）議事要旨

日時：平成25年4月5日（金）15：30～17：05

場所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

（委員5名出席）

### 1. 概要

①日本郵政株式会社の事業計画の概要

②日本郵便株式会社の事業計画の概要

③郵便局ネットワークの現状

上記3点について、日本郵政株式会社及び日本郵便株式会社から説明と質疑応答があった。

### 2. 委員会での意見等

資料101-1から101-3により説明

#### （1）説明の概要

○日本郵政株式会社の事業計画の概要

- ・持株会社として、グループ各社の経営の基本方針策定などを行うとともに、通信病院及び宿泊施設の経営改善に向けた取組等を実施

○日本郵便株式会社の事業計画の概要

- ・統合メリットの発揮及び増収に向けた取組等を実施

○郵便局ネットワークの現状

- ・郵便局の設置状況とともに、利便性の向上や安全性確保のための取組み及び郵便局ネットワークの再構築などの課題及び今後の取組み

といった説明があった。

#### （2）委員からの意見等

##### 【日本郵政株式会社に対するもの】

- ・情報システム子会社による効率化のメリットなどをどう考えるか。

（⇒調達プロセスの改善、適切な人材の採用などにより経済的でサービスのレベルが高まるように考えたもの。）

##### 【日本郵便株式会社に対するもの】

- ・郵便部門の収益の今後の見通しはどうか。

（⇒手紙の減少を物流業務、新規業務、子会社業務で補い2兆円企業を目指したい。）

- ・都市部における郵便局ネットワークの見直しは、利用者に大きな不便をかけるものではなく現実的だと思う。

- ・郵便局のコンビニとの併設及びショッピングセンターへの出店は試行段階だが、数値目標を設定するなどして推進していくべき。

- ・これからの郵便局が果たすべき機能・配置についてどのように考えるか。

（⇒東日本大震災の被災地における郵便局の再開について、地方自治体から郵便局を

街の中心に置きたいとの期待が大きいと感じており、その役割を果たしたいと考えている。また例えば駅前の郵便局が移転し空いた土地・建物への保育施設の設置などの要望もあり、こうしたニーズに合った、人の流れを呼び込めるようなサービスを提供できるようにしたい。）

- ・日本郵便株式会社となって6ヶ月経過したが、核となる郵便サービスについて良くなった点と今後の課題についてどう考えるのか。

（⇒郵便事業株式会社及び郵便局株式会社が合併したことで郵便の送達状況に関する情報共有が進んでいる中で、合併のメリットをお客さまに実感していただくことが今後の課題。）

### 3. その他

次回会合は5月31日を予定。

以上

（注）議事要旨は事後修正の可能性があることにご留意下さい。また、詳細については追って公表される議事録をご覧ください。